

生産事業戦略

2023年5月19日

常務取締役 生産事業部長

小林 京悦



目次

1 活動と方針

2 生産高,工場損益推移

3 主要製品の生産状況

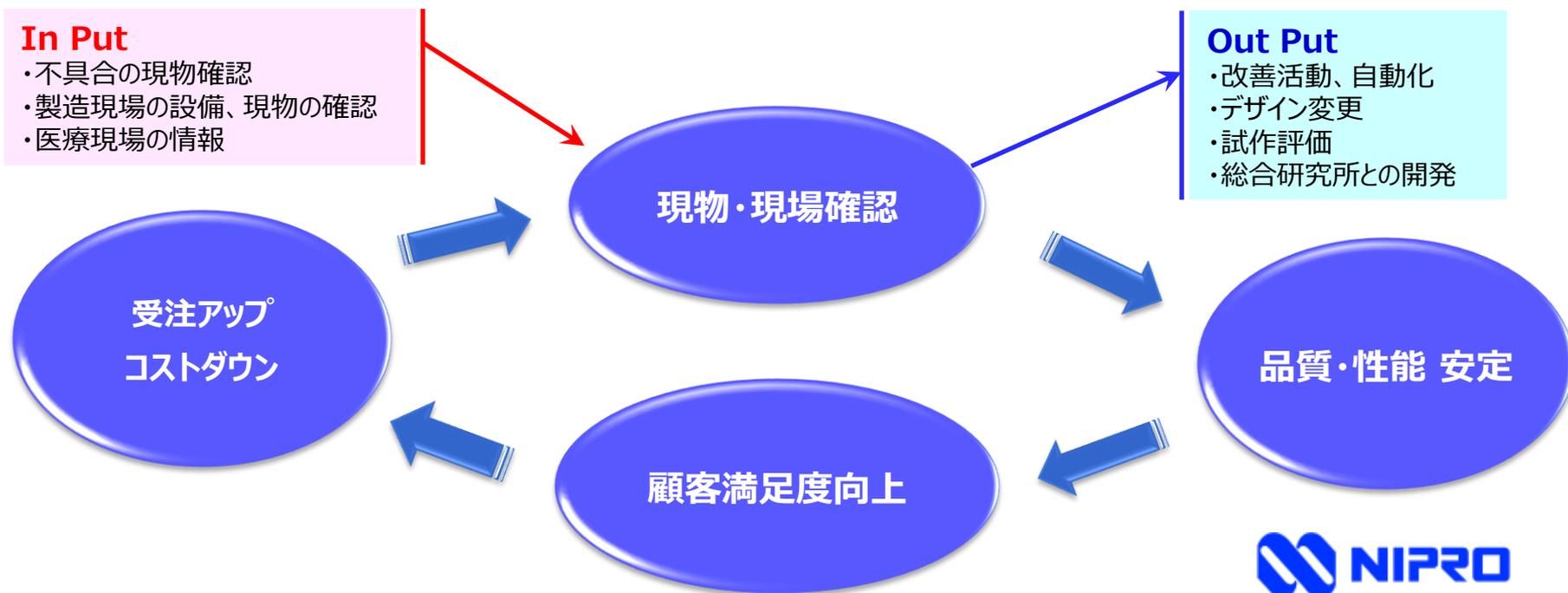
4 トピックス

生産事業部の活動方針

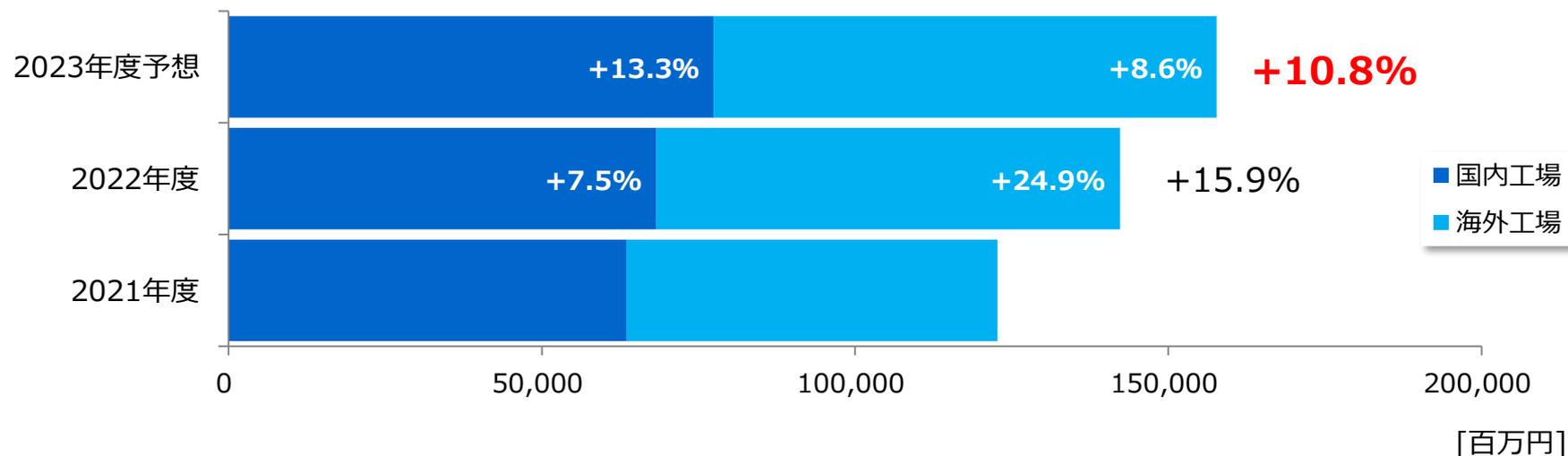
テーマ； “現場第一主義”

■ 方針

- ✓ 現場第一主義に基づき、現物・現場確認による合理化及び改善活動の推進と品質の安定を行い、製品顧客満足度を上げ、受注増に結び付けコストダウンを行う。



生産高推移



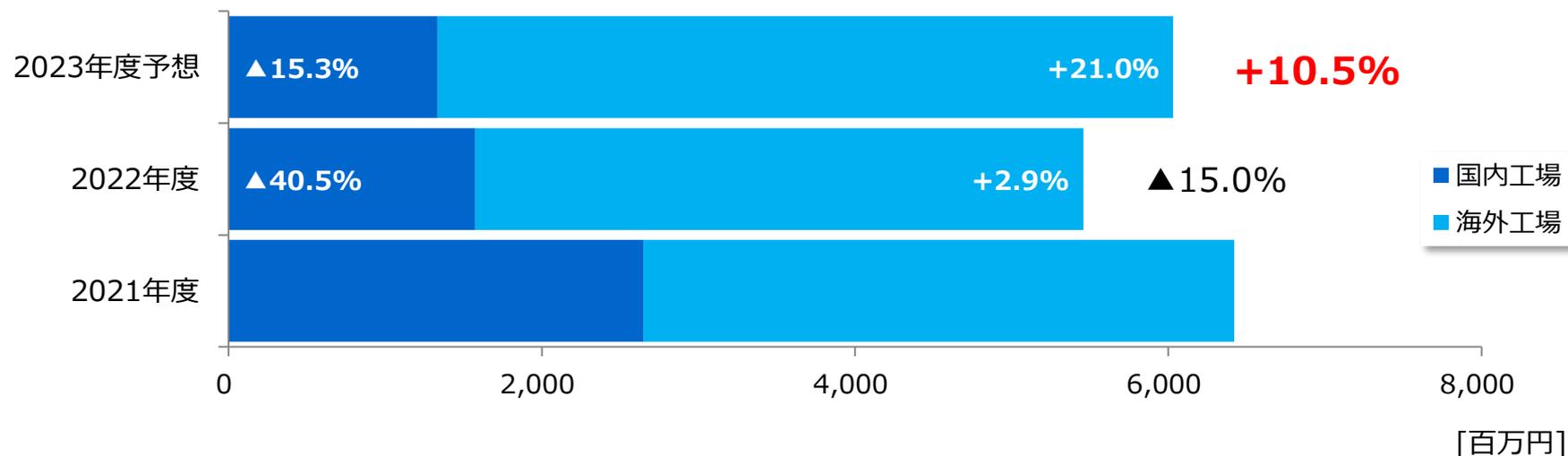
■ 2023年度予想 ; 前年対比+10.8%増収予想

- ▶ 海外工場 ; 合肥、インド工場でのダイアライザ新生産ラインの稼働により増加 +8.6%。
- ▶ 国内工場 ; 大館工場でのダイアライザ新生産ライン稼働開始予定により増加 +13.3%。

■ 2022年度 ; 前年対比+15.9%増収

- ▶ 海外工場 ; 主力工場でのダイアライザ、PSVなどの主要製品の生産増加等 +24.9%。
- ▶ 国内工場 ; 抗原検査薬の生産追加など +7.5%。

工場損益推移



■ 2023年度予想 ; 前年対比+10.5%増加予想

- ▶ 海外工場 ; ダイアライザ新生産ラインの稼働による生産高増加の影響 +21.0%。
- ▶ 国内工場 ; 22年度に引続き、エネルギー費、資材高騰の影響 ▲15.3%。

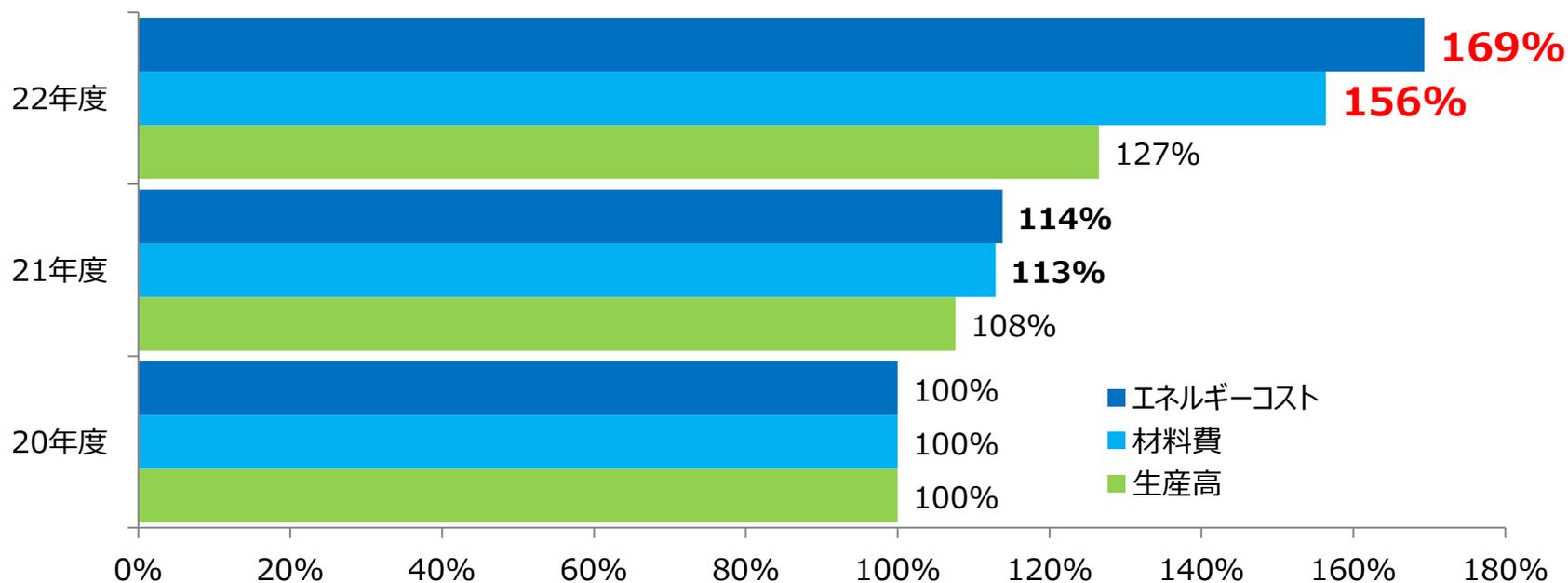
■ 2022年度 ; 前年対比▲15.0%減少

- ▶ 海外工場 ; 主力工場での生産高増加の影響など +2.9%。
- ▶ 国内工場 ; エネルギー費、資材高騰の影響 ▲40.5%。

工場損益推移

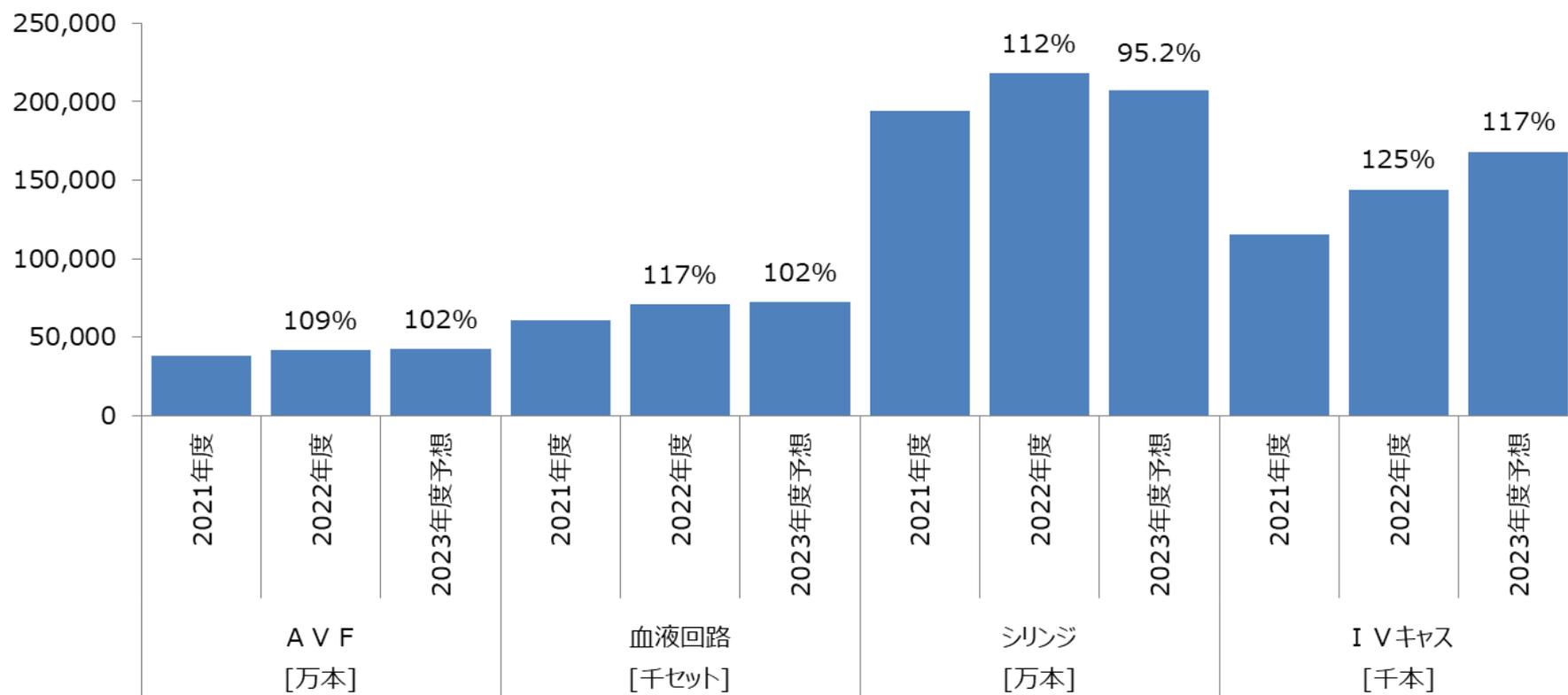
■ 材料費、エネルギー費の高騰の状況

- ▶ 2022年度は2020年度実績を基準として、
電力・水道光熱費；**+69%**上昇、材料費；**+56%**上昇
- ▶ 工程の半自動化・自動化の推進や生産性のさらなる改善を進め生産コスト削減を推進。
- ▶ 一部工場での太陽光パネルの利用による電力費削減などでコスト削減を図る。



主要製品の生産状況

- ▶ 2023年度の透析関連商品は前年対比で増加の予想。
- ▶ IVキャスは増加予想の一方、シリンジは減少予想。



トピックス

■ 環境マネジメントシステム(ISO14001)の取得状況

- ▶ 生産事業部の各工場においては、環境負荷の低減を通じ持続可能な社会作りに努め、次世代に住みよい地球と豊かな社会を残すために環境マネジメントシステムの承認取得を推進中。
- ▶ 2023年にブラジル工場、2024年にベトナム工場が登録予定。

工場名	取得状況	詳細
ニプロ大館工場	取得済	2014年1月登録
ニプロ医工	取得済	2014年12月登録
タイ工場	取得済	2022年6月登録
ベトナム工場	準備中	2024年10月登録予定
上海工場	取得済	2023年2月登録
合肥工場	取得済	2023年3月登録
インド工場	取得済	2022年11月登録
インドネシア工場	取得済	2022年4月登録
ブラジル工場	準備中	2023年6月登録予定
バンガレーシシリッジ	取得済	2022年11月登録
バンガレーシ血液回路	取得済	2022年1月登録